

PT. Dumas Tanjung Perak Shipyard

1972年に設立された民間造船所で、スラバヤに2ヶ所の造船所（メインヤードがJl. Nilam Barat 12、もう1つがJl. Nilam Barat 24-26）を持つ。現在、10万平方メートルの第3造船所を建設中である。

貨物船、タグボート、警備艇、パイロットボート、RORO フェリー、バージ、浚渫船、タンカーなどの修繕事業に従事していたが、現在は新造船に特化している。設備は1989年に建設した8,000DWTの乾ドックと、30トンの揚げ能力のTravelling Gantry Craneがある。従業員は合計約1,000人で、正社員、下請けが半々位である。

2016年11月の訪問時は、メインヤードで国営港湾会社PELINDO向けに7隻のタグボートを建造中で、日本の航海機器を装備していた。エンジンは船主供給のCaterpillar製であり、このうち4隻は1800馬力であった。もう1つのヤードでは、2017年末納入予定の設標船（Navigation Vessel）を建造中で、納期は2017年末の契約となっている。受注船のほとんどは政府向けである。

2002年にダーメン造船所と提携し、海上災害防止船を海上警察や海運総局向けに建造した。

図 3-24 PT. Dumas Tanjung Perak Shipyard 航空写真



図 3-25 PT Dumas 造船所内の様子



全体風景



建造中のタグボート



タグボート用のブロック



エアバック進水前のタグボート



資材置き場



エアバック

PT. Dok Pantai Lamongan

2006年に設立した造船所で、修繕をメインに、改造、新造、エンジニアリングを行う。修繕能力は10,000DWTまでである。新造船ではタグボートの建造実績有。現在、2000GTの貨客船を建造中であり、将来的には、旅客船、ランディングクラフトタンク（LCT）船、バージ、タンカー、コンテナ船（700TEU コンテナ船の建造計画有）、貨物船、警備艇の建造も希望している。修繕では海軍の船、タグボート、浮きクレーン、バージクレーン、タンカー、宿泊作業バージ、コンテナ船、旅客船、カッタードレッジャー、浚渫船、サプライ船、浮きドック、貨客 RORO 船、LPG 船などで実績がある。

設備はスリップウェイで、エアバッグウィンチシステムを使用している。スリップウェイの大きさは表 3-24 のとおりである。

表 3-24 PT. Dok Pantai Lamongan のスリップウェイ

スリップウェイ × 2	180m × 50m
スリップウェイ × 5	214m × 50m

出典：PT. Dok Pantai Lamongan プレゼンテーション資料

図 3-26 DOK PANTAI LAMONGAN の全体図



出典：PT. Dok Pantai Lamongan プレゼンテーション資料

同社の株主は Salam Pasific Indonesia Lines²⁷（SPIL）という海運会社も所有している。SPIL 社も造船所を持ち、自社船舶の修繕は自社の造船所で行っている。

²⁷ <http://www.spil.co.id/>

図 3-27 DOK PANTAI LAMONGAN 造船所内の様子



スリップウェー2に5隻の修繕船舶が並列に陳列



エアバック



建造中の2000GT貨客船のブロック



作業場